

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(協伸精機株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30様式改定】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			雇用にあたっては職種能力に応じた採用とし女性はもとより高齢者、障碍者の雇用も図っている。教育、相談体制も差別なく実施している。					5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8	10.2 10.3							16.1 16.2 16.7			
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			相談窓口を設け、ハラスメントが発生した時は実態を把握し速やかな対処を図っている。				5.1 5.2 5.5		8.5 8.8										16.1		
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			通常残業は少ないが、休日出勤があるが、代休制により長時間労働を回避している。							8.5 8.8											
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			現在は外国籍の従業員は在籍していないが、過去には中国、フィリピン等の従業員が在籍していた。			4.4			8.7 8.8	10.2 10.3											
5	人権・労働	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本		安全作業の基本である職場の整理整頓を徹底している。作業中の服装(制服、帽子)を正しく着装し作業手順に沿った安全作業の徹底を図っている。		3					8											
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			相談窓口を設け、メンタルヘルス不調が発生した場合の対処を行っている。		3																
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			多様な人材特に女性、高齢者、障碍者等の雇用に努めている。			5.1 5.5		8.5	10.2 10.3												
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			職務能力向上、職務上必要な資格取得などの研修に参加させている。（主任、管理者研修、フォークリフト、玉掛、クレーン、有機溶剤作業主任者等）			4	5.5		8 9												
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に問わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			定時従業員の労働基準法改正趣旨を理解して契約を履行している。				5.5		8.5	10.2 10.3											
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			「全国保険協会長野支部」に所属し毎年全社員の健康診断を実施している。その他に有機溶剤取扱者の特殊健康診断を実施している。		3				8												
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本		金属の端材、切粉は完全回収を行い、廃油等も指定業者を選任して処理をしている。												11.6 12.4	14.1					
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本		算定ツールを利用して温室効果ガスの排出量を把握している。						7.3							13					
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本		省エネ設備への更新や中部電力提供の「グリーンでんき」導入によりCO2削減に取り組んでいる。					7.2 7.3							12.4 13.3						
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本		法令で定められている有害物質を把握して法律に沿った管理をしている。県主催の講習会等に出席し又検査も受けている。			3.9		6.3							11.6 12.4						

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			環境に配慮した資材等を利用し、生物多様性保全に配慮している。																	15	
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			加工金属の端材や切粉の完全回収をリユースを図っている。製品梱包箱を使い捨てから通い箱にしてリサイクル化を図っている。															12.5	14.1		
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			廃油や有害物質の排水管理を十分に実施している。又節水意識を持たせ使用料の削減も行っている。							6.4	6.6										
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ		【予定】	2025年3月までにエコアクション21の取得を検討する。				3.9			6	7						12	13.3	14	15	
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			HP等で環境配慮した情報を公開している。															12.6			
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			中部電力提供の「グリーンでんき」導入により使用量の50%のCO2削減ができる見通しである。									7.2					13				
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			認証製品を使用している。非合法材を使用していないことを確認し使用している。														12.2	13	14	15	
	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			行動規範を朝礼、合同会議等で周知している。																	16	16.5
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			行動規範を朝礼、合同会議等で周知している。																	16	
公正な事業慣行	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			顧客からの図面管理の適正管理を行っている。										8.2	8.3	9						
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			管理者を特定して適切に管理している。																		16
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ			原材料のサプライチェーンを通じ隨時確認をしている。																		16
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			日常サプライチェーンへのアンケートや質問の中で相互理解のもとに取り組んでいる。					5			8	10	12	13	14	15	16	17			
	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本			2023年10月4日に作成・公表している。			3						8	9	10						17	

	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
						1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	10 	11 	12 	13 	14 	15 	16 	17 	
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			製品・サービス使用時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している。製品安全確保を踏まえた取り扱いを徹底している。			3.9												12.4			
30	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			ISO9001を取得し、顧客からのクレーム対応など品質を保証する仕組みを構築している。顧客の声を加工図面に直接表示等をして再発防止に努めている。										9								
31	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	【非該当】		自社開発商品はない。									6						12	13	14	15
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			歯科技工部門において銀やパラジウム等の稀少物質を使わない歯科用プラスチック材料で製品加工を提供している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
33	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			工場の騒音、有害物質の排水などが起こらないよう設備等配備している。				4						9		11	12		14	15	17	
34	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			「企業市民」と位置付け地域の祭事等への寄付や、下水道等の清掃にも積極的にかかわっている。				4								11		14	15		17	
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ			地元の材料商社より地元の材料メーカーの材料を仕入れて使用している。									8	9		11	12	13				
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			HPIにて「経営理念」と「会社の姿勢」を明確にしている。										8	9						17	
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確實に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			朝礼、合同会議等で法令順守の重要性の徹底を図っている。																	16	
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			責任者(担当役員)及び総務部門に担務させている。																	16	
39	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本			ISO9001の統合マニュアルに則してすべての利害関係者に及ぼす影響を把握し適切に対応している。																16	17	
40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ			BCP(事業継続計画)の中で中核事業のリスクの洗い出しと対策を講じている。																	16	
41	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility : 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ			「企業理念」を通じて責任ある企業経営を実践していく。																	16	
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ			BCP(事業継続計画)を策定(2019年8月)して社内で共有している。										9		11	13	13.1			16	
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ			BCP(事業継続計画)を策定(2019年8月)して社内で共有している。後継者がいる。2023年11月に消防署協力の基防災訓練を実施。									8	9						17		

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定